

開講科目名	専門演習 B (1)		
担当教員	安岡 正晴	開講区分	単位数
		後期	2単位

授業のテーマと到達目標

主に2回生を対象とした、この演習では、世界と日本が直面している様々な政治・経済・社会問題について多面的に議論することを目標とします。社会問題を考える際にも突き詰めると「いいか悪いか」「好きか嫌いか」で論じがちな人が多いですが、この演習ではそうした単純な二元論に陥ることなく、むしろ「どうなっているのか?」、「どうしたらいいのか」という視点から実践的で政策志向型思考のトレーニングを積んでいきたいと思ひます。講座や思想を問わず、様々な意見を持った皆さんが集まって、議論を交わすゼミにしたいと思ひます。

授業の概要と計画

以下のようなテーマを軸に受講生の関心に応じて変更していきます。

1. グローバル化に対応した持続可能な福祉国家は構築できるか?
2. 2012年の一連のリーダーの交代で世界秩序はどう変わるか?
3. グリーン・ニューディールの可能性と限界
4. ドル一極支配の終わりとユーロ、人民元の将来
5. 中東・北アフリカの民主化は世界の他の地域に波及するのか?
6. 世界政治経済における中国とロシア
7. アフリカ支援と国際社会
8. 混迷する日本政治と停滞から脱出するためのシナリオ
9. 少子高齢化の対応策の国際比較
10. 安心、安全なまちづくりの国際比較
11. 脱自動車・輸出産業依存経済の可能性:日本の「創造力」の再生
12. 核軍縮と原子力の平和利用の現状と課題
13. 感染症対策と国際社会
14. 21世紀の安全保障

成績評価と基準

演習への参加・発言 30%
 演習でのプレゼンテーション 40%
 提出コメント 30%
 を総合して評価します。

履修上の注意 (関連科目情報等を含む)

履修希望者は初回の授業(10/1)に必ず出席してください。初回に出席しない場合は履修を認めません。

オフィスアワー・連絡先

月、水、金の昼休み、他は要予約
 研究室 E409
 E-mail yasuoka@kobe-u.ac.jp

学生へのメッセージ

「何かについて全てを語り、全てについて何かを語れる」力をつけることを目標に頑張りましょう。様々な社会問題に視野を広げて、ニュースに接して、「ああゼミでやったな」と思えるような先見性のある演習にしてゆきたいと考えています。

今年度の工夫

シミュレーションなど新たな手法も導入して、ゼミの議論を活性化する予定です。

教科書

特に使用しない。

参考書・参考資料等

堀井秀之『問題解決のための「社会技術」:分野を超えた知の協働』中公新書、2004
 枝廣淳子・小田理一郎『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか?』東洋経済新報社、2007
 大江・梅垣・岡部『総合政策学:問題発見・解決の方法と実践』慶応義塾大学出版会、2006

授業における使用言語

日本語

キーワード